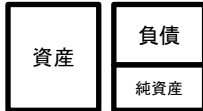


小平市の財務書類(平成25年度概要版)

小平市では、市民の皆さまへ財務状況を説明し、財政運営等を図るため毎年財務書類4表を作成、公表しています。

財務4表

①貸借対照表



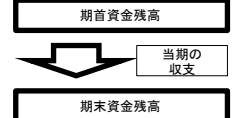
②行政コスト計算書



③純資産変動計算書



④資金収支計算書



平成25年度の小平市での特徴点を財務書類ごとに見てきます。

①貸借対照表

・決算期末時点において保有する資産、負債等の財政状態を表示しています。
・左側に資産、右側に負債と純資産を計上します。

【普通会計】

・前年度と比べて税金収入が伸びたことなどから、流動資産が増加しました。
・前年度と比べて地方債の償還が進んだことなどから、固定負債が減少しました。
・将来世代の負担となる「負債」が減少し、今までの世代が負担した「純資産」が増えることから、将来への負担を出来る限り抑制し、資産を形成してきたと言えます。
【連結】
・前年度と比べて普通会計で税金収入が伸びたこと、連結団体でも地方債償還が進んだことなどから、「純資産」が増えました。

普通会計	平成25年度	平成24年度	普通会計	平成25年度	平成24年度
【資産の部】	1,871億5,746万円	1,838億7,136万円	【負債の部】	379億2,092万円	396億 802万円
1 公共資産	1,729億 581万円	1,709億6,795万円	1 固定負債	332億 825万円	344億8,937万円
2 投資等	78億 359万円	76億1,883万円	2 流動負債	47億1,267万円	51億 1,865万円
3 流動資産	64億4,806万円	52億8,458万円	【純資産の部】	1,492億3,654万円	1,442億6,335万円

連結	平成25年度	平成24年度	普通会計	平成25年度	平成24年度
【資産の部】	2,434億3,216万円	2,418億2,209万円	【負債の部】	526億9,310万円	559億8,782万円
1 公共資産	2,220億2,194万円	2,218億3,568万円	1 固定負債	456億2,843万円	483億1,309万円
2 投資等	98億8,179万円	93億 78万円	2 流動負債	70億6,468万円	76億7,473万円
3 流動資産	115億2,843万円	106億8,563万円	【純資産の部】	1,907億3,906万円	1,858億3,427万円

②行政コスト計算書

・行政サービスを提供する上で発生した費用を表しています。
・人のサービスや給付サービスなど、資産形成につながらない行政サービスにかかる経費及び財源のフロー情報となります。

【普通会計】

・前年度と比べて退職手当引当金の減などにより「人にかかるコスト」が減少しました。
・前年度と比べて生活保護や障害者自立支援給付費などの扶助費が増えたことから「移転支出的なコスト」が増加しました。
【連結】
・前年度と比べて社会保険給付が増えたことにより「移転支出的なコスト」が増えていること、連結団体である東京都十一市競輪事業組合の事業量が減少したことに伴い「経常収益」が減少したことなどから、純経常行政コストが増加しました。

普通会計	平成25年度	平成24年度	連結	平成25年度	平成24年度
【経常費用】			【経常費用】		
人にかかるコスト	84億3,273万円	87億5,565万円	人にかかるコスト	130億1,743万円	133億3,661万円
物にかかるコスト	117億6,145万円	119億6,220万円	物にかかるコスト	190億1,928万円	191億9,760万円
移転支出的なコスト	304億3,016万円	302億6,957万円	移転支出的なコスト	656億1,367万円	632億5,901万円
その他のコスト	4億 203万円	5億4,205万円	その他のコスト	45億3,753万円	50億9,188万円
行政コスト(合計)	510億2,636万円	515億2,947万円	行政コスト(合計)	1,021億8,790万円	1,008億8,520万円
【経常収益】			【経常収益】		
使用料・手数料など	12億9,103万円	12億5,125万円	使用料・手数料など	368億 637万円	368億6,392万円
【純経常行政コスト】			【純経常行政コスト】		
経常費用-経常収益	497億3,533万円	502億7,823万円	経常費用-経常収益	653億8,153万円	640億2,128万円

③純資産変動計算書

・貸借対照表の「純資産」について、1年間の増減の動きを表します。
・どのような要因で純資産が増減したかを把握することができます。

【普通会計】

・前年度と比べ「補助金等受入」が新みちづくり・まちづくりパートナー事業の終了により減少となったものの、市税が伸びたことにより「一般財源」が増加したことや土地の無償寄附により「その他」が増加したことなどから、「期末純資産残高」が増えました。
【連結】
・前年度と比べ連結対象団体における扶助費が伸びたことなどで、「純経常行政コスト」が増加しているものの、普通会計において「一般財源」等が増加していることにより「期末純資産残高」は増加しました。

普通会計	平成25年度	平成24年度	連結	平成25年度	平成24年度
【純資産の部】			【純資産の部】		
期首純資産残高	1,442億6,335万円	1,407億2,921万円	期首純資産残高	1,860億9,539万円	1,813億1,680万円
純経常行政コスト	△497億3,533万円	△502億7,823万円	純経常行政コスト	△653億8,153万円	△640億2,128万円
一般財源	359億8,967万円	351億7,253万円	一般財源	362億1,177万円	354億9,151万円
補助金等受入	167億1,904万円	183億3,123万円	補助金等受入	314億7,588万円	321億9,084万円
臨時損益	1,032万円	△192万円	臨時損益	658万円	△621万円
その他	19億8,949万円	3億1,052万円	その他	23億3,098万円	8億6,261万円
期末純資産残高	1,492億3,654万円	1,442億6,335万円	期末純資産残高	1,907億3,906万円	1,858億3,427万円

④資金収支計算書

・1年間における現金・預金などの流れを「経常的収支」「公共資産整備収支」「投資・財務的収支」の3区分により表したものです。

【普通会計】

・「経常的収支の部」の黒字額で「公共資産整備収支の部」と「投資・財務的収支の部」の赤字額を補てんしきれなかったため、期末歳計現金残高が増加しています。
【連結】
・連結対象団体のいくつかにおいて「経常的収支の部」で赤字となっており、平成24年度からの繰越金である期首資金残高などで補てんされています。

普通会計	平成25年度	平成24年度	連結	平成25年度	平成24年度
【経常的収支の部】			【経常的収支の部】		
1 経常的収支の部	83億9,947万円	80億9,350万円	1 経常的収支の部	96億5,051万円	104億9,561万円
2 公共資産整備収支の部	△1億7,204万円	△9億8,698万円	2 公共資産整備収支の部	△7億1,188万円	△11億3,557万円
3 投資・財務的収支の部	△70億6,726万円	△65億8,420万円	3 投資・財務的収支の部	△84億6,335万円	△81億9,524万円
当年度歳計現金増減額	5億2,017万円	5億2,232万円	当年度歳計現金増減額	4億2,529万円	11億6,481万円
期首歳計現金残高	23億5,858万円	18億6,626万円	期首歳計現金残高	55億3,564万円	44億7,703万円
期末歳計現金残高	28億7,875万円	23億5,858万円	期末歳計現金残高	60億2,093万円	55億9,184万円

連結・・・普通会計における財務書類に加え、市の特別会計や市が出資している財団法人、一部事務組合などひとつの行政サービス実施主体とみなして作成する財務書類です。

【連結対象団体等】

●普通会計

- 特別会計等(国民健康保険団体、後期高齢者医療特別会計、介護保険事業特別会計、下水道事業特別会計、介護サービス事業)
- 出資団体(小平市土地開発公社、小平市文化振興財団、小平市社会福祉協議会)
- 一部事務組合(湖南衛生組合、小平・村山・大和衛生組合、東京たま広域資源循環連携、昭和病院組合、東京都十一市競輪事業組合、東京都四市競輪事業組合、東京市町村総合事務組合、多摩六都科学館組合、東京都後期高齢者医療広域連合)